



ISO14001認証取得！

ISO14001とSDGsの関連性について



我々奥谷金網は2025年4月3日にISO14001認証を取得しました。ISO14001とは企業が環境への負荷を減らすための仕組み（環境マネジメントシステム）を導入し、継続的な改善を促進する国際規格です。そしてISO14001は、SDGsと大きく関わりがあります。今回は「企業がISO14001を取得する意味」について簡単にご説明します。

■企業がISO14001を取得する意味

1. 環境リスクの管理・低減

→法規制の遵守、環境事故の予防、コスト削減（省エネ・廃棄物削減）などに繋がる。

2. 社会的信頼の向上

→環境に配慮した企業としてのブランド価値を高め、取引先・消費者からの信頼を得られる。

3. ビジネス機会の拡大

→サプライチェーンでの要求事項となることもあり、入札や海外取引での競争力が高まる。

SDGs目標	関連内容
目標6：安全な水とトイレを世界中に	水資源の保全活動、排水管理の強化
目標12：つくる責任 つかう責任	持続可能な生産・消費プロセスの構築
目標13：気候変動に具体的な対策を	CO ₂ 削減、省エネルギー施策の推進
目標14・15：海や陸の豊かさを守ろう	生物多様性の保全、環境負荷の最小化

ISO 14001の取得は「環境配慮を仕組み化」すること。これにより、企業はSDGsの環境目標への実践的な貢献が可能となり、社会的責任と競争力を両立できます！



企業による熱中症対策の義務化

熱中症対策もSDGsに繋がる!!



6月1日より「熱中症の重篤化を防止する」ため労働安全衛生規則が改正され、企業の熱中症対策が義務付けられました。奥谷金網では毎年5S安全衛生委員会が中心となり熱中症対策に取り組んでいましたが、今年は新たな対策も取り入れ、より働きやすい職場環境づくりを目指し活動しています。こういった取り組みは、SDGsの「目標3：すべての人に健康と福祉を」「目標8：働きがいも経済成長も」に繋がってきます。さて、それでは熱中症対策が一体どういったものなのか、今回は明石工場の活動を例にご紹介していきます。

明石工場の熱中症対策

- スポーツドリンク・経口補水液・塩飴の設置（定期的な水分・塩分の補給）
- 熱中症フロー図・熱中症対策手順書の掲示（自分含め、周りも気付ける環境へ）
- 空調服の支給（空調服着用ルールも掲示）
- 医療機関の連絡先一覧の掲示（少しでも早く連絡、駆け付けへ）

